



 Pacific Supply



ZX-1 取扱説明書



警告

- ご使用前に、本書を最後までよくお読みください。
- 日常点検を怠ると、思わぬ事故や車椅子の破損につながります。
- お読みになられた後でも、大切に保管し、必要に応じて繰り返しお読みください。

本製品に関するお問合せは、裏表紙をご参照ください。

目次

[1] はじめに	-----	P.3
[2] 安全にお使いいただくために	-----	P.3
[3] 適応	-----	P.6
[4] 使用場所	-----	P.6
[5] 適合・調整	-----	P.6
[6] 耐用年数	-----	P.6
[7] 構成部品と各部の名称	-----	P.7
[8] 機能と特徴	-----	P.8
[9] 車椅子に乗る前の点検について	-----	P.15
[10] 廃棄方法	-----	P.15
[11] 安全な使い方	-----	P.16
[12] 日常のお手入れと点検方法	-----	P.17
[13] 保管方法	-----	P.18
[14] 工具	-----	P.18
[15] 仕様諸元	-----	P.19

[1] はじめに

このたびは、数ある車椅子の中から弊社の車椅子をご購入くださいまして、誠に有難うございます。ご購入いただきました車椅子はMEYRA(マイラ)社が培った技術に新たな技術を用いて、移動および更なる自立性を求める声を実現致しました。本車椅子は、オプションパーツを使用することで、お客様それぞれのスタイルに合わせた仕様に調整が可能です。

⇒ご相談ならびにご不明な点は、お買い上げ販売店へお問い合わせください。

[2] 安全にお使いいただくために

本製品の機能を十分に生かし、かつ安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよく読み内容を理解してください。その後大切に保管し、必要に応じて繰り返しお読みください。

● 絵表示について

この取扱説明書では色々な絵表示をしています。これは本製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々に加える恐れのある危害や損害を未然に防ぐ為の目印となるものです。その表示の意味は次のようになっています。内容を良くご理解の上、本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定され、かつ切迫の度合いが高い内容を示します。



この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 日常の保守点検は1日1回使用前に搭乗者もしくは介助者が必ず行ってください。また、保守点検を行っていない車椅子は使用しないでください。保守点検の方法は[12]日常のお手入れと点検方法 をご参照ください。
- 緊急の時以外は搭乗者が前のめりになるような急ブレーキはかけないでください。搭乗者が車椅子から転落して死亡又は重傷を負う恐れがあります。
- 本製品を使用中はブレーキが確実に効くことを絶えず確認しながら使用してください。ブレーキが効かない場合、介助者が車椅子を制御できず死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 階段等を上り下りする際には本体フレーム以外は持たないでください。持ち上げた際に車椅子が破損して階段等から落ち、死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 移動している時以外は必ず駐車ブレーキをかけてください。意図せぬ時に動き出して事故等を起こし、死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 走行中、身体を乗り出す等して、走行の安全性を損なうことのないようにしてください。車椅子ごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。
- グリップ等に荷物をぶら下げないでください。後方に転倒し、死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 階段等を上り下りする際は、4名以上の方で車椅子を持ってください。階段等から落ち、死亡または重傷を負う恐れがあります。
- シートの上に立たないでください。車椅子ごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 踏み台や脚立のかわりに使用しないでください。車椅子ごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 本製品は歩行器ではありません。歩行器がわりに使用しないでください。また、牽引用具や運搬用具として使用しないでください。
- 搭乗者、介助者は本製品を修理改造しないでください。破損等が生じた場合は必ずお買い上げ販売店へ修理交換についてご相談ください。
- 傾斜地での走行または駐車は十分注意してください。車椅子ごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。
- 搭乗者と介助者は、本製品の使用方法や取扱注意事項等が理解できるまで本製品をご使用にならないでください。
- 本書の安全に関する指示事項には必ず従ってください。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 直射日光のあたる場所や炎天下の車内に長時間放置したり、熱器具(ストーブ等)の近くで使用しないでください。熱により変色や変形する恐れがあります。著しく変形した本製品は使用しないでください。
- 車椅子走行中は、スポークで指や手などを挟まないようにしてください。
- 市販されているクッション類を使用する場合は、お買い上げ販売店に相談してください。着座中の姿勢に影響を及ぼす場合があります。
- 本製品の搭乗者最大体重は120kg以下(手荷物等の積載物を含む)です。120kgを超える場合は本製品が変形する恐れがあります。変形した本製品は使用しないでください。
- フットサポートや足を段差にぶつけないようにしてください。けがをしたりフットサポートが破損する恐れがあります。
- 走行中、足がフットサポートから落ちないようにしてください。
- 製品の不断の改良により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄についてはお買い上げ販売店まで問合せください。
- 本製品を組み立てる際は、シートパイプなどで指を挟まないようにしてください。
- 本書に規程した方法以外での使い方に関しては、安全性は保証できません。
- 本製品は改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一不審な点や誤り、乱丁、落丁記載漏れなどに気付いた場合はお買い上げ販売店までご連絡ください。
- 本書は製品と共に常に手元に保管し、必要に応じて繰り返しお読みください。
- 本書を紛失または損傷した場合は速やかにお買い上げ販売店までご連絡ください。
- 本書の全部または一部を無断で転載複製することを禁じます。

[3] 適応

- 本製品は成人用車椅子です。車椅子は一人用です。牽引用具や運搬用具として使用しないでください。

[4] 使用場所

- 本製品は水平で硬い路面での使用に適しており、以下の場所でご使用いただけます。
 - ⇒ 屋内(例:マンション / デイケアなど)
 - ⇒ 屋外(例:公園の舗装された道など)
 - ⇒ 移動の友として(例:バス / 電車など)
- 本製品は個々の使用環境に合わせるためにたくさんの調整が可能です。小さな折りたたみ機能とは別に、最適化されたクロスブレース構造は高い安定性をもたらします。



注意

- ・お使いになる前に、必ずお買い上げ販売店において、お客様のニーズに合わせた調整を行ってください
- ・調整箇所は操作技術・お客様の身体状況・使用環境によって異なります

[5] 適合・調整

- 全ての安全に関する説明・お客様のニーズに合わせた調整を、お買い上げ販売店から購入時に受けてください。
 - ⇒ 長期的に最適な適合状態を維持するために、病気や障がいの症状の変化に合わせた定期的な車椅子の調整をお勧めします
 - ⇒ アクティブな移動を行っていただくために、定期的なメディカルチェックを行うことをお勧めします

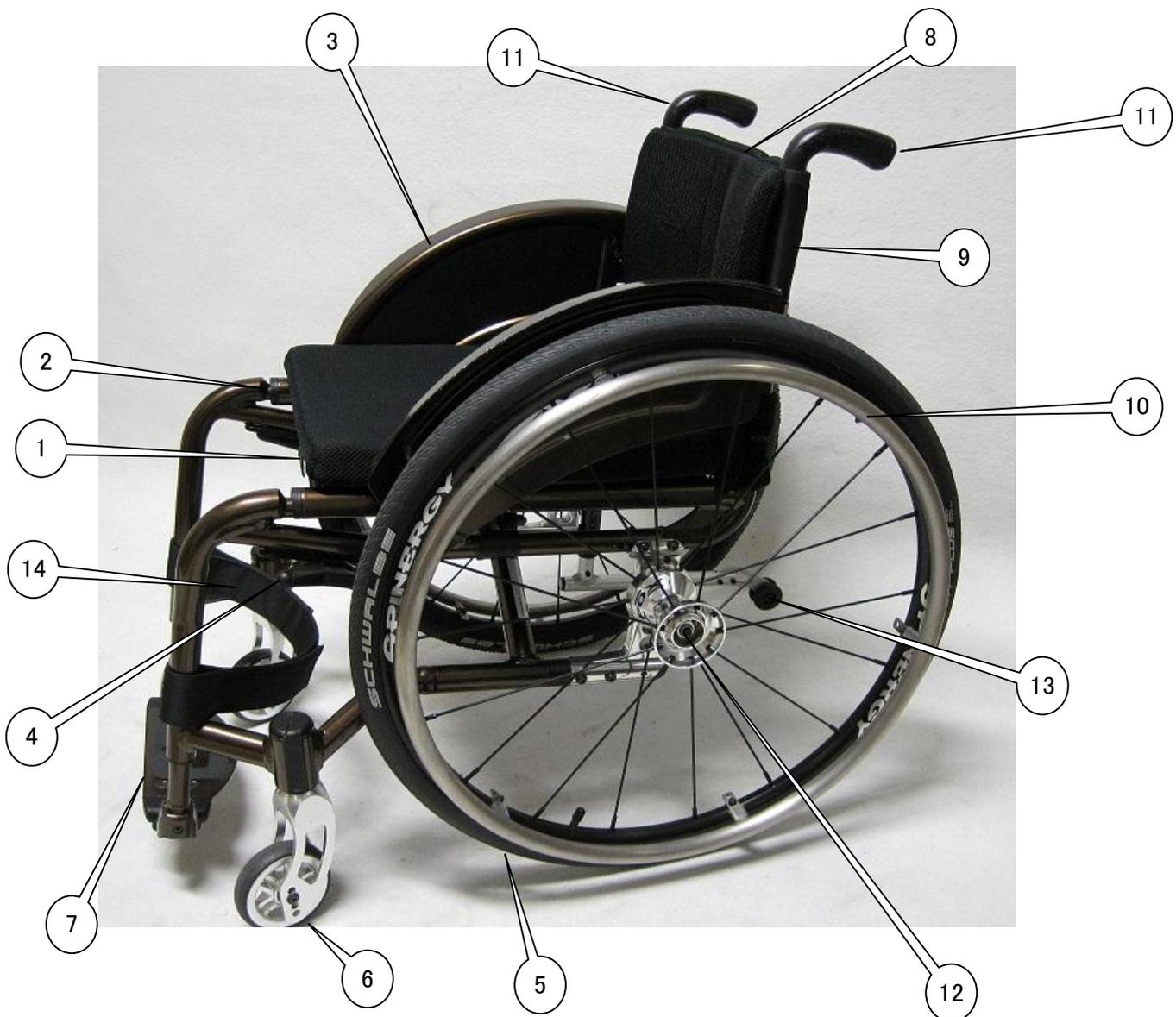
[6] 耐用年数

- 本製品の本来の目的でご利用いただいた場合、ならびに全てのメンテナンス・サービスガイドラインを実施した場合に限り、本製品の耐用年数は平均4年です。
- 本製品の耐用年数はご利用頻度、環境、お手入れにより変動します。
- スペアパーツにて修理対応することにより、製品の耐用年数が延びる可能性があります。
- 規定のスペアパーツは車椅子本体生産終了後でも、5年間は提供が可能です。
 - ⇒ 上記の耐用年数は保証期間を延長するものではありません

[7] 構成部品と各部の名称

本製品は下記の部品で構成されています。不足部品がないか点検してください。

① シート	-----	車椅子の搭乗者が座る部位
② シートパイプ	-----	シートを支持するフレームの側方パイプ
③ サイドガード	-----	衣服の巻き込み、汚れを防ぐためのカバー
④ 手押しブレーキ	-----	車椅子の駐車時に用いるブレーキ
⑤ 駆動輪	-----	自走用標準型の駆動力を伝える車輪
⑥ キャスタ	-----	操舵を行う小車輪
⑦ フットサポート	-----	足部の支持位置
⑧ バックサポート	-----	搭乗者の背部を支持する部位
⑨ バックサポートパイプ	-----	バックサポートを支持するパイプ
⑩ ハンドリム	-----	車椅子の駆動輪についている操作の握り部
⑪ 手押しハンドル	-----	介助者が車椅子を押す為のハンドル
⑫ クイックリリースアクセル	-----	駆動輪を取り外す際の車軸
⑬ 転倒防止バー	-----	後部への転倒を防止するもの
⑭ レッグサポートベルト	-----	足部が後方に落下するのを防ぐベルト



[8] 機能と特徴

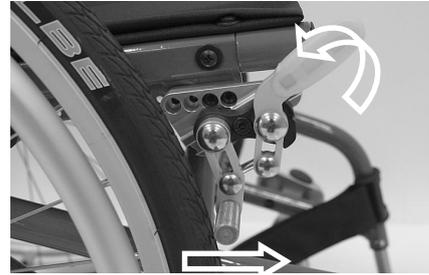
本製品には以下の特徴があります。

1、手押しブレーキ

標準(タックル)ブレーキはブレーキレバーを前方へロックすることで、車椅子が不用意に前進しないように固定します。



ロック状態



解除状態

解除するには両側のブレーキレバーを上方へ上げてください。

ライトブレーキをロックするには、レバーを外側へ押し開いてください。



ロック状態



解除状態

ライトブレーキを解除する際には、レバーの間に指を詰めないように、注意してください。



- ・ブレーキ抵抗が弱まっている場合は、お買い上げ販売店においてブレーキ調整を行ってください
- ・両側のブレーキがかかった状態で車椅子本体を前方へ進ませないでください

2、レッグサポートベルト

レッグサポートベルトは足がフットプレートの後ろに落ちるのを防ぐためのベルトです。

レッグサポートの長さ調整は、前方のレッグサポートパイプに沿わせ、高さ調整のボルトを確認しながら、マジックテープ®で長さ調整をします。マジックテープ®の着脱によって、ベルトの着脱が可能です。



- ・ 足こぎをする時以外は、レッグサポートベルトを外さないでください
- ・ 足こぎをする時は、フットプレートを跳ね上げておいてください
(フットプレートの項目を参照)

3、フットサポート

車椅子へ乗り降りする時は、足こぎする時と同様、フットサポートを跳ね上げてください。

足元のスペースを確保するために、レッグパイプの組み合わせによって、フットサポートを右側もしくは、左側に跳ね上げる事も可能です。



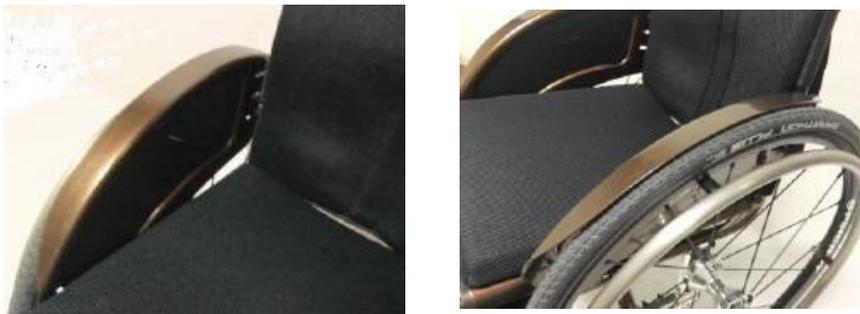
フットサポートに足を乗せる場合には、プレートをブラケットにしっかりと
はめこんでください。



- ・ フットサポートがきちんと安全に固定されていることを必ず確認してください
- ・ フットサポートに足を置いて作業する時は車椅子が不用意に動かないように、ブレーキを掛けてください

4、サイドガード

サイドガードは、駆動輪のスポーク部分や、水しぶきから衣服を保護する役目があります。



- ・ サイドガードとタイヤの間を掴まないでください、指詰めがあります
- ・ サイドガード・アームサポートを掴んで車椅子を持ち運ばないでください
- ・ 介助者が車椅子を押している時は、搭乗者はアームサポートパッドの上もしくは、膝の上に手を置いてください
- ・ 身体とサイドガードの間には手を置かないでください、挟み込む恐れがあります

5、バックサポート

バックサポートは、張り調整が可能です。

- ① シートをはがし、前方に折りたたみます。
- ② マジックテープ®を着脱して張り調整を行います。
- ③ シートを元に戻します。



- ・ 張り調整用ストラップの合いしろは少なくとも10cmは確保してください

6、手押しハンドル

高さ調整式手押しハンドルは、バックパイプにアタッチメントを使って取付けます。

手押しハンドルはお好きな高さに調整し、抜けないようにきちんと留めてください。

高さ調整方法

まず、片手で手押しハンドルをしっかりと握り、もう一方の手でレバーを緩めてください。

手押しハンドルをご希望の高さまでスライドさせ、レバーでしっかりと固定します。



手押しハンドルの取り外し

レバーを緩めて手押しハンドルを引き上げて抜き取ります。

プッシュボタンを押し込んで、手押しハンドルを引き上げアタッチメントから外します。



プッシュハンドルの取付け

プッシュボタンを押し込んで、アタッチメントの上部から差し込みます。プッシュハンドルをアタッチメントを通してスライドさせ、ご希望の位置でしっかりとレバーを固定してください。



7、シート

シート裏面には小物入れ用のポケットがついています。
先端の持ち手部分を使って、マジックテープ®を着脱させることで開閉出来ます。



8、駆動輪

クイックリリース

ホイールは工具を使うことなく、着脱することが可能です。ホイールの中央にある、ロックボタンを押しながら、着脱を行います。

ホイールの着脱は車椅子に誰も乗っていない状態で行ってください。
車椅子は平らで安定した場所に置いてください。
ホイールを着脱する前に、フレームを支えてください。車椅子が転倒することを防ぎます。



・ホイールを挿入後、車軸ノブの先端がナットから数mm出ていることを確認してください

組み立て後、ホイールを押したり引いたりして、完全にロックされているか確認してください。
ホイールが片側に傾いていたり、ガタツキがある場合は、至急、お買い上げ販売店で点検をしてください。



テトラクイックリリース

(取り外し)

テトラクイックリリースのハンドルを90°以上リム方向に回転させてください。ロックが解除された後、マーカーがリム方向に向いていることを確認してください。

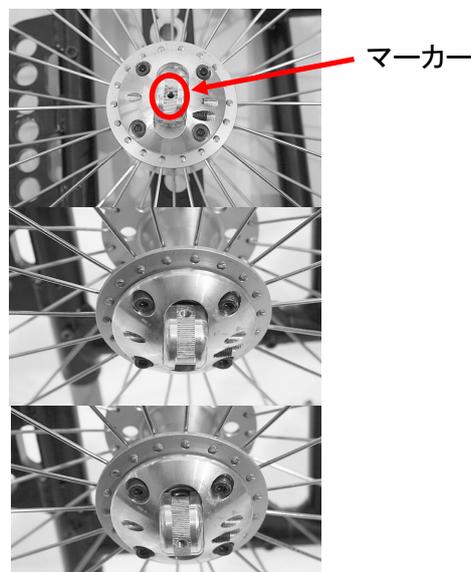
ホイールを外してください。

(取付け)

マーカーがリム方向に向いている状態にしてください。

ホイールを装着します。

ハンドルを90°回転させて、マーカーが中央に向くようにして、ロックしてください。



9、転倒防止バー

転倒防止バーは後方への転倒のリスクを軽減させます。不要時には、シートの下に折りたたんで収納することが可能です。

転倒防止バーを下に押し下げながら、自動的にロックされるまで、フレームの内側を通して、回転させてください。



10、シートベルト

シートベルトは座位の安定性を高めます。急ブレーキの時など、搭乗者がシートから滑り落ちを防止します。

ベルトは、前方で両側の金具を合わせて固定してください。固定されているか確認してください。



- ・シートベルトの取り付けは、お買い上げ販売店において行ってください
- ・シートベルトは、自動車乗車中における車椅子・搭乗者を固定するためのものではありません

ベルトを外す時は、バックル外側にある赤色のボタンを押してください。



- ・ベルトと身体の間、何も挟まっていないことを確認してください
- ・圧が高まって、痛みを伴う場合があります

ベルトの長さ調整

ベルトを後方へ引いたり前方に引いたりすることで、長さを短くしたり長くしたりすることが可能です。スライダーの位置を調整することで、ベルトのたるみを防ぎます。



- ・シートベルトは引っ張り過ぎると、締め付けがきつくなります
- ・ストラップに対して、バックルや固定具が90°になるように保持してください

11、本体フレーム開閉 (折りたたみ時)

シートクッションがある場合、クッションを外します。
フットプレートを完全に跳ね上げます。
座シートの前端と後端中央を持って、引き上げます。



車椅子の運搬

車椅子を折りたたんで持ち運ぶ際は、ベースフレームの下に片方の前腕を通してもしくはレッグサポートパイプを持って、片方の手でバックサポートを後方から支えて行ってください。



- ・ シートパイプを持って本体を持ち上げると、本体フレームに想定外の重量が掛かった場合に、本体フレーム折りたたみ部品(たすき)が外れる場合があります。

(開ける時)

簡単に開くために、車椅子を片側に少し傾けます。片輪が床についている状態で、止まるまでシートパイプを下に押し込みます。



- ・ 完全にシートパイプがはまるまでに両手で両側のシートパイプを押し込む必要があります。その際、指詰め等にご注意ください。
- ・ シートパイプとベースパイプが完全にはまっていることを確認してください

[9] 車椅子に乗る前の点検について

本製品をご購入いただいた場合は、ご使用前にまず下記のチェックを行ってください。

	注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。
---	-----------	---

〈ご使用前に必ず次の点検を行ってください。〉

- | | | |
|--------------------------------|-------|--------------------------|
| (1) 手押しブレーキは効くか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (2) シートやバックサポートは緩みなく取り付けられているか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (3) シートやバックサポートに損傷や裂け等はないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (4) 縫製部分のほつれはないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (5) マジックテープ®の接着不良はないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (6) 各部にひび割れや欠け、変形等はないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (7) 各部のねじにゆるみやガタツキはないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (8) カシメ部分にゆるみやガタツキはないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (9) 駆動輪がパンクしていないか | ----- | <input type="checkbox"/> |
| (10) その他異常はないか | ----- | <input type="checkbox"/> |

万一破損や異常が発生した際にはそのまま使用しないで、必ずお買い上げ販売店にご連絡ください。異常状態のまま、絶対に使用しないでください。

[10] 廃棄方法

車椅子を廃棄する場合は、お住まいの自治体にお問合せください。

[11] 安全な使い方

1 段差での走行方法

- (1) キャスタが段差の直前になるような位置で停車します。このとき、段差に対して車椅子を直角に止めてください。
- (2) 手押しハンドルを押しながら(必要であれば転倒防止バーを踏んで)車椅子をティルトさせ、キャスタを段の上に持ち上げてください。
- (3) 駆動輪を段に突き当て、車椅子を押しながら手押しハンドルを持ち上げます。

2 坂道での走行方法

下り坂ではハンドリムを使ってスピードを落とし、必ず前向きで走行してください。
上り坂では上体を前傾させて重心が後方へ倒れることを防いでください。いずれも可能であれば、他の人の介助を得てください。特に4.5°(8%)を超える勾配(下図参照)は危険ですので、決して上り下りしないでください。
のぼりの際に、急発進や、バックサポートの後ろに荷物を下げること、上体をそらして後方へ体重をかけることはしないでください。転倒の恐れがあります。

3 傾いた道での走行方法

傾いている側の手に力を入れて、車椅子が道の低い方へ曲がらないようにしてください。普通の押し方では低い方へ曲がってしまいます。

4 溝のある道での走行方法

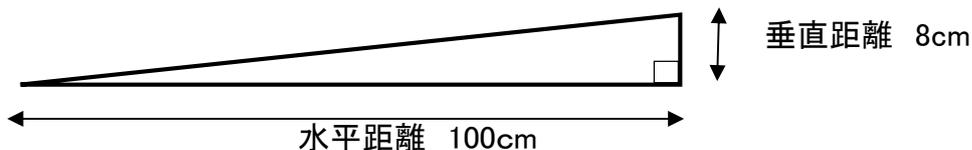
キャスタや駆動輪の幅や直径よりも広い溝や踏み切り等を通る際には、溝に対して直角になる角度で進入してください。直角でない場合、キャスタや駆動輪が溝にはまる恐れがあります。「11-1段差での走行方法」のように、溝の手前でキャスタを持ち上げてから通過するのも1つの方法です。

※グレーチング(側溝を埋める金網)を通る際には直角ではなく、斜めに進入してください。



- ・ 交差点や踏切では特に注意してください
- ・ 交差点や踏切内で立ち往生すると大変危険です

【図:8%の勾配】



[12] 日常のお手入れと点検方法

下記の部分を1日に1回ご使用前に必ず点検してください。また、点検していない車椅子はご使用にならないでください。



- ・点検の結果異常を発見された際にはそのまま使用せず、お買い上げ販売店に修理を申し出てください

1 手押しブレーキ

駆動輪の空気圧が適正で、乗車状態にある時、ブレーキを掛けた際、前後に動かない状態が適正な効き具合です。上記状態で動く場合は、そのまま使用せず、お買い上げ販売店に申し出てください。

2 駆動輪およびキャスト

- (1) 駆動輪に空気は入っているか。(適正空気圧はタイヤ側面に明記)
- (2) パンクしていないか。
鋭利な物体、釘、ねじ、ガラスの破片などによって、空気入りタイヤがパンクした際には、チューブを修理か交換してください。
- (3) 駆動輪やキャストに異物が刺さっていないか。
- (4) 駆動輪の溝はあるか。(最低スレッド深さ=1mm)
- (5) 駆動輪に大きなひずみや損傷はないか。
- (6) 駆動輪の空気バルブがゆるんでいないか。
- (7) 大きなガタツキがなくスムーズに回転するか。

3 フットサポート

- (1) ねじが緩んでいないか。
- (2) 汚れた場合はぞうきん等で拭いてください。

4 バックサポート・シート

汚れた場合は車椅子から取り外し、やわらかいスポンジやタオルを使用し、中性洗剤で汚れを洗い落としてください。

5 シートパイプなどの塗装面

塗れたタオルを固く絞って中性洗剤を用いて拭いてください。

[13] 保管方法

水分や直射日光をさけ、日陰で保管してください。

[14] 工具

調整とメンテナンスには以下の工具が必要です。

- | | |
|---------------------|------------|
| (1) オープンエンド又はメガネレンチ | 6.8.9.10mm |
| (2) 六角レンチ | 3.4.5mm |
| (3) ドライバー | + / - |

ねじの締め付けトルク値

他に記載がない限り、ねじの締め付けは以下のトルクで行ってください。

M4ねじ…3Nm M5ねじ…5Nm M6ねじ…10Nm
M8ねじ…25Nm M10ねじ…50Nm M12ねじ…85Nm

※ トルクレンチなど適切な工具がない場合はお買い上げ販売店に調整してもらってください。

[15] 仕様諸元

型式

ZX-1 1.360

フレームサイズ	ショート		ミディアム		ロング	
フレームアングル	スタンダード	コンパクト	スタンダード	コンパクト	スタンダード	コンパクト
全長(mm) ※	840~910mm	810~880mm	880~950mm	850~920mm	920~990mm	890~960mm
シート奥行(mm) ※	360/380/400		420/440		460/480	
タイヤサイズ(インチ)	24/25/26					
全高(mm) ※	後座高+バックサポート高					
シート幅(mm) ※	320~500(20mm間隔)					
バックサポート高(mm) ※	250~450(50mm間隔)/500(プッシュハンドル選択時)					
キャンバー角	0.5度/3度					
キャストサイズ(インチ)	4/5/6					
使用可能温度	周囲の温度 -25~50度 保管温度 -40~65度					
許容斜面/傾斜	4.5度(8%)					
本体重量 ※	最小9kg 最大15kg(駆動輪含む)					
フレーム重量 ※	最小6.5kg(アームサポート・クッション・駆動輪含まない)					
許容合計重量	129kg(本体重量含む)					
許容最大荷重	120kg					
	荷物などがある場合、搭乗者の体重からその分を減らしてください。例えば、5kgの荷物を持つのであれば、搭乗者体重は5kg減らして115kgとなります。					
全幅 ※	キャンバー角0.5度	ハンドリム距離15mm		シート幅+170mm		
		ハンドリム距離25mm		シート幅+190mm		
	キャンバー角3度	ハンドリム距離15mm		シート幅+220mm		
		ハンドリム距離25mm		シート幅+240mm		
シート・フットプレート間距離(mm) ※	300~480mm(10mm間隔)					
前座高(mm) ※	460~520mm(10mm間隔)					
後座高(mm) ※	400~480mm(20mm間隔)					
ハンドリム距離	15mm/25mm					

※ 許容寸法±15mm ±2度

品質保証書

本製品は、弊社の品質管理・検査のもと皆さまのお手元にお届けしておりますが、万一故障した場合には保証規程に基づき無償修理いたします。その際は現品に保証書を添えてお買い上げ販売店へご提出ください。

製品名 (Typ)		マイラ車椅子「ZX-1」(1.360)		
シリアルナンバー	受注番号	シリアル番号	製造年一週	
お客様 情報	(フリガナ) ご氏名	TEL		
	住所	〒		
ご購入年月日	年	月	日 (保証期間本体フレーム3年その他2年)	
販売店名 住所 TEL				

■ ご購入年月日、お客様情報の欄に記入がない場合は無効となります。必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は、直ちに買い上げ販売店にお申し出ください。

■ 本書は再発行いたしませんので大切に保管ください。

この保証書は、本書および保証規程に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するもので、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 保証期間が過ぎた後の修理等についてご不明の場合は買い上げ販売店までお問合せください。

＜保証規程＞

1. 保証期間はご購入の日から本体フレーム3年間、その他2年間です。保証期間内に発生した故障については弊社が無償修理致します。
2. 保証の対象となる部品は本製品一式です。ただし、消耗品は除きます。
3. 無償修理には保証書を提出してください。
4. 本製品に関するご相談は、買い上げ販売店または下記連絡先にて承ります。
5. 保証書の保証対象とならない故障および損傷につきまして、弊社の責任に帰属する場合は、保証期間に関わらず無償修理いたします。
6. 次の場合には、無償修理はできません。ただし、特にご希望の方には実費にて修理いたします。
 - ① 保証書を紛失された場合
 - ② 誤ったご使用方法、あるいは誤った修理・改造による故障・損傷
 - ③ 火災、地震等の天変地異による故障・損傷
 - ④ 保証書にご購入年月日、お客様情報、シリアルナンバーの記入のない場合、または不当変更を加えられた場合
 - ⑤ ご購入後の輸送、移動、落下等による故障・損傷
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。

販売元



パシフィックサプライ株式会社

本 社 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1
TEL: 072(875)8008 FAX: 072(875)8010

<http://www.p-supply.co.jp/>

2014年8月 改定 3 版